

【基本施策を推進する実施計画の事務事業】

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和5～7年度)	事業の成果 (令和5年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
1	○	鳥取市・麒麟のまち圏域魅力発見支援事業費	本市に所在する大学または専門学校が、学生を対象に実施する麒麟のまち圏域の企業への就職促進活動や魅力発見活動を支援し、若者の定住につなげる。	・学生が麒麟のまち圏域内に住みたいと思えるような魅力を発見するための事業への補助 2件 ・学生の麒麟のまち圏域内への就職を促進する事業及び学生が麒麟のまち圏域内に住みたいと思えるような魅力を発見するための事業への補助 1件	市内大学及び専門学校が学生に対して実施する活動を支援することで、学生の地域への愛着心の醸成や定住意欲の向上を図った。	就職を理由とする若者の都市部への流出が続いているため、市内の大学や専門学校が、学生を対象に実施する麒麟のまち圏域の企業等への就職促進活動や魅力発見活動の支援を継続し、若者定住につなげていく。	企画推進部	政策企画課	77
2	○	雇用促進協議会支援事業費	若者の地元就職の促進や雇用の安定を図るため、雇用創造・雇用促進に関する機関や団体で構成する「鳥取市雇用促進協議会」が実施する事業を支援する。	・高校生の企業説明会（参加者160人：3校、参加企業16社） ・地元企業と高校進路指導担当者との就職情報交換会（参加企業13社、参加高校7校） ・人材確保・定着セミナーの開催（参加者31社37人）	地元の高校生が、就職を検討する際に地元企業を知っていただくことに貢献している。	有効求人倍率が平成27年7月から連続して1倍を超える状況が続いており、人材不足が長期化している。若年者の地元企業への就職の促進、職場への定着率の向上など、引き続き労働需給の均衡に関する諸課題の解決に向けて取り組んでいく必要がある。	経済観光部	経済・雇用戦略課	185
3	○	ジグおこし事業費	地域の観光資源を活用したイベントを支援することにより、地域の活性化や関係人口の創出・拡大を図る。	・都市部や地域の大学生等と連携して実施するイベントへの助成 事業名：いなば用瀬宿横丁さんぽ市 内容：かつての宿場町：用瀬の各所に展開された屋台などを楽しまつつ、町の魅力を感じていただく来場者参加型のイベント 日時：令和5年11月12日（日）開催	地域の大学生15名が屋台を展開するなどとしてイベントへ参画した。また県内外から約480名の参加があった。	町の魅力を広く発信し、用瀬に足を運んでいただく関係人口創出の取組として今後も継続して実施する。	用瀬町総合支所	用瀬町総合支所地域振興課	342
4	○	雇用促進協議会支援事業費（コロナ克服・新時代開拓臨時交付金）	若者の地元就職の促進や雇用の安定を図るため、雇用創造・雇用促進に関する機関や団体で構成する「鳥取市雇用促進協議会」が実施する事業を支援する。	若者の地元定着促進事業（地元企業早期プランティング事業等）の実施 高等学校3校の599人が地元企業34社に訪問（鳥取西高校：1年生278人・鳥取商業高校：1年生155人・八頭高校：2年生166人）	進路選択を控える高校1・2年生に地元企業の魅力や事業の発展性などを知ってもらうことができた。	県内高校生の70%以上が進学し、その多くが県外へと進学する状況において、進学前の進路選択前の段階で地元企業の事業や魅力について知ってもらうことで将来のUターンにつなげていくなどが重要となっており、引き続き実施高校を増やし、地元企業の認知度向上に向けて産学官で取り組む。	経済観光部	経済・雇用戦略課	187
5	○	SDGs 未来都市推進事業費	【環境】再生可能エネルギーの普及活動を推進する。太陽光発電パネルガラスのリサイクル材を活用した微生物発電の実証実験を進める。 【経済】環境面の取組を活用した次世代農業の育成を推進する。 【社会】本市独自の取組を県外の方が体験して学ぶことができるワークショッププログラムを創出する。	・太陽光発電パネルガラスのリサイクル材を活用して微生物発電の実証実験を行っている企業に経費の一部を支援 1件 ・ワークショッププログラムを実施している企業に経費の一部を支援 参加者：6社15名 ・鳥取市SDGs未来都市のステークホルダーが行う、プロモーションに対する経費の一部を支援 3件	微生物発電の実証においては、年間を通しての屋外実証実験の記録を取ることで、屋内実験では分からなかったことが明らかとなり、今後、社会実装する上での重要な知見を得ることができた。 ワークショッププログラムは、終了後も、プログラムの際に提案された事業が継続することになった。また、事業に引き続き関わる参加者もいるため、新たな関係人口の構築に繋がっている。 鳥取市SDGs未来都市のステークホルダーが積極的に情報発信を行ったため、未来都市計画の認知拡大に繋がった。	今後、耐用年数を迎えた太陽光発電パネルの大量廃棄が想定されている。この問題を解決するため、パネルのリサイクルを推進するだけでなく、太陽光発電パネルリサイクル材を活用した事業に対する支援を行う。 本市の地域資源を活用した、地域活性化に資する事業を実施するために係る経費の一部を支援する。地域への積極的な関わりの機会を創出し、関係人口の拡大を図る。 YouTube動画の更新や各種SNSの活用、各ステークホルダーが行う情報発信に対しての支援を行う。SDGs未来都市構想の普及だけでなく、SDGs未来都市への参画企業数増加に繋げる。	経済観光部	スマートエネルギー推進室	185
6	○	関係人口推進事業費	関係人口拡大のために取り組む、ワークショップや地域資源を活用した事業を支援する。	・ワークショッププログラム造成・実施経費支援 1件 770千円 ・ワークショップネットワーク協議会の運営支援 692千円 ・ワークショップ又は市内視察経費支援 5件 155千円 ・地域資源を活用した地域活性化に資する事業費支援 2件 1,334千円	各種ワークショップ関連事業への支援や協議会の運営支援等の取組を行うことにより、ワーキング環境としての鳥取の優位性をアピールするとともに、地域との継続的な繋がりが期待できる関係人口の増加にも寄与することができた。	関係人口は、地域の担い手となるだけでなく、地域住民や地元企業との交流がイノベーションや新たな価値を生み、内発的発展につながるほか、将来的な移住者の増加や企業誘致にもつながることが期待される。引き続き、地域とのつながりの強化に向けたきっかけづくりを支援し、地域とつながる人や企業を増加させることを目指す。	経済観光部	企業立地・支援課	202

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和5~7年度)	事業の成果 (令和5年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
7	○	文化芸術推進事業補助金	文化芸術団体が実施する文化芸術に関する事業に必要な経費を補助することにより、自主的な文化芸術活動の促進、地域に根差した文化芸術の振興を図る。	市民による文化芸術に関する事業への支援を実施した。 ・イベント開催など 14団体 ・次世代育成（アートスタート事業） 3件	市民による文化芸術活動を支援することにより、文化芸術活動の衰退やまちの活力や魅力の低下を防ぐことで、ふるさと・いなか回帰の促進に貢献した。	文化芸術のまちづくりを進めるうえで、地域の文化芸術活動の活性化が必要であることを踏まえ、今後も市民による文化芸術活動に対する支援、普及啓発、次世代育成などに取り組む。	企画推進部	文化交流課	84
8	○	人材誘致・定住促進対策事業費	移住定住専任相談員等の配置や移住・交流情報ガーデンの設置により、本市への移住を検討している者に寄り添った相談対応・サポートを行う。 また、移住希望者が本市の情報に触れる機会の増加に向け、移住定住専用ポータルサイトの運営及び戦略的な情報発信を展開する。 そして、麒麟のまち1市6町で連携した取組の実施により、圏域での移住促進を図る。 さらに、お試し定住体験施設の管理運営や空き家の利活用を促進することで、移住定住の推進や自立した地域コミュニティの維持につなげる。	・移住相談窓口（本庁舎・関西圏）及び鳥取市移住・交流情報ガーデンの設置 ・東京及び大阪での全国規模移住相談会（オンライン開催含む）への出展 圏域合同2回 単独6回 ・移住定住専用ポータルサイトの運営及び戦略的な情報発信の実施 ・麒麟のまち圏域の空き家情報の発信 ・お試し定住体験施設の管理運営4施設（市街地1、用瀬1、佐治1、気高1） ・移住定住空き家バンクの管理運営 9団体 ・移住者等による中山間地域の空き家利活用に係る各種支援の実施 5件 ・鳥取市ふるさと移住支援金による支援の実施 8件	対面移住相談会への出展や各種SNS及び移住定住専用ポータルサイト「とっとりコネクト」での情報発信等により、令和5年度は233世帯の移住相談登録があった。相談者に対する移住定住専任相談員による伴走型支援の実施や各種移住支援制度による支援により、451人の移住者の受け入れにつながった。これにより、地域の活性化が期待される。	前年度との比較で、移住相談登録者数・移住者数は同等となった。今後もポータルサイト等での情報発信により登録者数の増加を図るとともに、移住定住専任相談員による丁寧な相談対応により移住者数増へ繋げていく。また、移住希望者等のニーズ把握に努め、移住支援施策の充実を図る。	市民生活部	地域振興課	91
9	○	地域の魅力創出事業費	中山間地域の美しい原風景や地元グルメを楽しみながら県東部一円をめぐる自転車周遊イベント等への支援を通じて地域の魅力発信に取り組む	鳥取砂丘や浦富海岸などのジオスポットや吉岡温泉を巡る自転車周遊イベントへの支援 ・大規模周遊自転車イベント運営補助金 【実績】 鳥取すごい！ライド2023 1件 1,000千円 参加者 530名（ゲスト・サポートライダー29名含む。）	当該事業により、県内外からのイベント参加者が本市の中山間地域等をめぐり、地域の魅力発信が図られた。	令和6年度も引き続き鳥取すごい！ライドを開催するとともに、県内外のサイクリストに対し、鳥取市及び県東部圏域の魅力発信を図っていく。	市民生活部	地域振興課	93
10	○	グリーンツーリズム推進事業費	関係団体との連携や中山間地域における体験型民泊を展開する事業者支援等を通じ、農山漁村の活性化に取り組む。	グリーンツーリズムに取り組む民間団体の活動支援 ・鳥取市グリーンツーリズム連絡会への補助 1件 ・鳥取市中山間魅力ある民泊推進事業補助金（青谷地域） 1件	グリーンツーリズムにおける体験活動や民泊事業を行う団体に対し支援を行ったことで、同事業に取り組む団体に対し、県内外からの宿泊を伴う体験事業参加者があった。これにより、地域の活性化が期待される。	新規団体の掘り起こしや、加盟団体の活動支援を継続して行う。 新型コロナウイルスの5類移行による今後におけるマイクロツーリズムとアウトドア活動の需要拡大に向け、県内外への情報発信を図っていく。	市民生活部	地域振興課	93
11	○	定期借地権付土地分譲事業費	定期借地権付土地制度をPRし、青谷町望町団地及び鹿野町湯川団地の分譲を促進する。	・青谷町望町団地3区画の分譲（うち定期借地付き分譲2区画） ・鹿野町湯川団地2区画の分譲（うち定期借地付き分譲2区画）	住宅団地の分譲が進むことで、自然豊かな中山間地の定住が図られた。	鳥取西道路開通による分譲団地の利便性向上等を踏まえ、テレビCM等積極的な広報・PRを行い、更なる分譲促進を図る。	都市整備部	建築住宅課	289